

JTAA-KANTO 2022

関東支部 会員集会

A CONFERENCE OF JTAA KANTO

2022年5月22日(日)

Zoom 開催

<2021年度の活動報告・2022年度の活動計画>

2021 年度

- I. 支部活動の一般報告
- II. 各部会報告
 1. 普及部会
 2. 研修部会
 3. 指導会員部会
 4. 広報部会
 5. TAカレッジ部会
 6. 組織運営部会

2022 年度

- I. 支部活動方針
- II. 各部会活動計画
 1. 普及部会
 2. 研修部会
 3. 指導会員部会
 4. 広報部会
 5. TAカレッジ部会
 6. 組織運営部会

「参考」理論講座・各種講座 実績一覧表、理論講座等計画一覧表

<2021年度の収支報告・2022年度の収支予算>

- I. 2021 年度収支報告および2022 年度収支予算
- II. 貸借対照表
- III. 監査報告

<支部運営委員・監事名簿および機構図>

- I. 支部運営委員・監事・顧問名簿
- II. 2022 年度 関東支部機構図

「参考」関東支部県別・資格別会員数

2021年度活動実績 および 2022年度活動計画

【2021年度の活動報告】	【2022年度の活動計画】
<p>I. 支部活動の一般報告</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、入門講座、資格講座を除き、各種主催講座はZoomを活用したWeb講座にて開催いたしました。前年度より継続した新たな開催方法へのチャレンジでしたが、関東支部以外の会員の方も受講いただき、都心へ移動せず自宅からオンライン上で受講できるなど、会員から好評な感想もあり、今後、リモート講座開催を図るための貴重な実績を積むことができました。</p> <p>支部主催2級・1級資格講座の受講者を増加させることが支部の課題ですが、上期下期に2級講座、1級講座をそれぞれ1回開催し、新たな会員獲得に繋がりました。また、資格認定試験においてはコロナ禍において、Zoomによる講義、筆記試験やグループ面接を行い、状況に順応した手段を講じて延期することなく認定試験を開催し、受験者のニーズに応えることができました。</p> <p>2020年度に新設したTAカレッジ部会開催の勉強会（ZOOM）により、TAカレッジに興味を持つ指導会員が多く参加し、参加者同士で情報共有ができ、新規TAカレッジ開設へ結びつくようになりました。</p> <p>財務状況については、運営委員一人一人が部会ごとに収支を意識した支部運営活動に取り組む体制に変化しつつあり、Zoomによる講座開催により会場費の支出がなかったこと、支部長以下運営委員の手当てを無支給にするなど、支出削減策を実行したことにより黒字化に貢献することができました。</p> <p>II. 各部会活動報告</p> <p>1. 普及部会</p> <p>普及推進活動</p> <p>1) 県別紹介講座</p> <p>県別紹介講座を次のとおり、2回実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月21日 長野県塩尻市 11時～12時（4名参加）、15時30分～16時（7名参加） ※2講座共に対面で実施しましたが、新型コロナウイルスの影響もあり企画時に予定した参加者を集めることができませんでした。 <p>2) 入門講座</p> <p>交流分析を初めて学ぶ方を対象に入門講座の開催を対面講座2回、ZOOM講座4回を企画し、下記の4講座は実施することができましたが、他の2講座については参加申込みが1名でしたので開催中止としました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面講座 7月11日参加者 4名、10月2日参加者6名 ・ZOOM講座 11月28日参加者 4名、1月23日参加者5名 <p style="text-align: center;">4講座の参加者合計：19名</p> <p>テキストとして「現代の交流分析（基礎）」を使用し、対面講座は10：00～16：00にて6時間（昼食休憩1時間を含む）、ZOOM講座は13：00～17：00にて4時間で実施しました。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大により、対面講座は2回ともZOOM講座に変更して実施。</p> <p>対面講座をZOOM講座に変更することにより、対面講座は2回とも開催することができた。</p> <p>3) インストラクターネットワークの構築</p> <p>インストラクターの方を対象としたネットワークをスタートしました。県別にリーダーを選出して、リーダーを中心に県別の交流会や勉強会を開催することにより、横の繋がりを深めるとともに、県別紹介講座の開催を目標としました。</p> <p>2022年2月17日現在、関東支部で合計71名のインストラクターのネットワークへの参加申込みがあります。また、長野県、千葉県、神奈川県、北海道などで登録インストラクターの交流会を実施しました。</p> <p style="text-align: center;">(2022年3月末現在 84名 組織率29%)</p>	<p>I. 支部活動方針</p> <p>交流分析の普及について、県別紹介講座、出前講座を推進するにあたりニーズを把握し、一層の推進を図ります。そのためには、ホームページ（以降、HP）やFacebook等を活用し、外部の人（非会員）に興味を持ってもらえるような情報発信が行えるよう、HPなどの改善を進めていきます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない現状を踏まえ、支部主催講座も原則Web講座（Zoom）を主体に計画し、開催していきます。</p> <p>資格講座、一部入門講座など対面式開催については、3密を回避した安心・安全な環境のもと、多くの会員に受講してもらえるように配慮してまいります。</p> <p>TAカレッジの立ち上げが行えていない県に対しては、受講者が関東エリアどこでも受講できるように、TAカレッジ開設に向け取り組んでまいります。</p> <p>2021年度は黒字決算となりましたが、実質的な運営委員の活動費を加味すると、まだ脆弱な収支構造であることから、四半期ごとに収支状況を確認するなどして引き続き財政改善に取り組む組織運営を行います。</p> <p>2022年度は東京で全国年次大会が開催されるため、その大会運営を担う支部として大会開催とその成功に向け、チーム一丸となって大会運営を進めてまいります。</p> <p>II. 各部会活動計画</p> <p>1. 普及部会</p> <p>普及推進活動</p> <p>引き続き『交流分析および協会の社会的認知度の向上を進めます』</p> <p>1) 県別紹介講座</p> <p>交流分析県別紹介講座をより多くの県で実施できるように、インストラクターネットワークを活用して新会員獲得と既存会員同士のコミュニケーション向上を図ります。</p> <p>年度内に東京、神奈川、長野、千葉、埼玉県で1回以上の県別紹介講座の開催を目標とします。</p> <p>他県については、開催に向けて問題点の整理に絞って解消を目指します。</p> <p>2) 入門講座</p> <p>交流分析を分かりやすく学べる入門講座を下記のように実施し普及を図ると共に、TAに興味を持ってもらい、2級講座の受講に繋がることを目標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面講座 9月17日、2023年2月25日（2回開催予定） ・ZOOM講座 5月14日、7月16日、10月15日、12月25日（4回開催予定） <p>テキストとして「現代の交流分析（基礎）」を使用し、対面講座は10時～16時で6時間（昼食休憩1時間を含む）、ZOOM講座は13時から17時の4時間で実施予定です。</p> <p>3) インストラクターネットワークの構築</p> <p>インストラクターネットワークの県別での横の繋がりを深めるとともに、県別紹介講座の開催を目標とします。また、他の部会との連携を強化し、県別紹介講座、入門講座の質を高め、ホームページやSNSを媒体とした宣伝に注力することで受講者数の増加を図り、新規会員の獲得を促進します。</p> <p>新規インストラクター及び未加入のインストラクターへの働きかけを関東支部と協力して行い、ネットワークの充実を図ります。組織率50%を目指します。</p>

【2021 年度の活動報告】

2. 研修部会

研修企画・運営の充実の取り組み結果について

- ① コロナ禍での Zoom による研修は 2 年目を迎え、運営側、そして受講者側も Zoom 環境に習熟してきて円滑な研修が行えるようになりました。
- ② Zoom での開催により、受講にはネット環境を整えることが必須になりましたので、HP からの受講申込み、イーベでの受講料振込等の手続きでネットを活用することになり、申込状況の把握やアンケート結果の集計が迅速、確実に行えるようになりました。
- ③ 交流分析理論の実践的な活用を旨として、「ドライバーと脚本」、「エゴグラムの読み方・基礎編」、「エゴグラムの読み方・応用編」、「TA マインドフルネス」、「人生の立場の迷宮」講座を実施しました。
- ④ 人格適応論をさらに深める理論講座として、特別セミナー「人格適応論の深耕」を初級・中級講座を受講した方を対象に 2 日間のコースで実施しました。
- ⑤ 講座開催日数としては全 12 日、ほぼ毎月 1 回開催というスケジュールでしたが、皆様のご協力をいただき滞りなく実施することができました。
- ⑥ 1, 2 級認定試験が Zoom での実施となり、共同ホスト等によるサポートを実施しました。

3. 指導会員部会

2021 年度は前年のコロナ禍の影響を受け、すべての活動が Zoom を活用したりリモート開催となりました。

『指導会員としてのスキル向上・理論研究の推進』をテーマとしました。

主な活動内容は次の通りです。

- ① インストラクター定例会を、9 月 13 日(小林雅美教授)、2 月 26 日(井手之上准教授)と 2 回開催いたしました。9 月 13 日(小林雅美教授)のテーマは「自我状態」、2 月 26 日(井手之上准教授)のテーマは「やりとり分析」でした。いずれも 2 級中心ではなく、1 級の要素も取り入れました。
- ② インストラクター資格更新研修会を 8 月 28 日(本山和子教授)、3 月 20 日(広瀬一郎教授)の 2 回開催いたしました。テーマは「日常生活に活かす TA」でした。コロナ禍が長引き、多くの方が心理的に不安に思っている中、TA を活用して日常生活を有意義にするための手法を学ぶことが出来ました。

4. 広報部会

会員の皆様に情報が早く・正確で・わかりやすく・使いやすいカタチで届くように改善を続けました。

ホームページ・メールマガジンを提供し、Web 講座や SNS などインターネット・コミュニケーションを活用した会員サービスの充実や一層のペーパーレス化など支部運営の合理化の一端を担ってきました。

- ① より使いやすい、HP となるよう、早い更新を心掛け常に改善につとめました。
- ② 各部会との連携をより強化しその活動を支援。会員の皆様への広報を通じて各部会の活動をサポートしました。
- ③ TA カレッジの開設・受講生募集をより使いやすくし、カレッジ運営を支え新規会員の増加に寄与しました。
- ④ 長引くコロナ禍のなかりリモートの流れはますます進むと考え、Web 講座・申し込み・受講が順調に進むよう、システムの改善に努めました。
- ⑤ 会報内容の充実と定期発行に取り組みました。
- ⑥ 関東支部所有の価値ある文書を活用していただけるよう、引き続き電子書籍の研究に取り組みました。
- ⑦ 「まんがでわかる交流分析」の続編の作成を進めました。
- ⑧ 会員からの投稿・応募など、会員参加型・双方向型の広報を目指しました。
- ⑨ パンデミックや災害などへの対策として、またスムーズな引き継ぎのため、引き続き委員の複数分担制を進めました。

【2022 年度の活動計画】

2. 研修部会

理論研究活動

『会員の皆さんの理論研究活動に役立つような、研修企画・運営の充実を図ってまいります』

- ① 今年度もコロナウイルス感染症の影響を考慮し、また遠隔地からも気軽に参加できる利便性もあり、全面的に Zoom での開催とします。各講座の内容や実施時期を早めにお知らせすることでより多くの方に受講いただけることを目指します。
- ② 新たな取り組みとして、日本ゲシュタルト療法学会前理事長の室城隆之先生をお迎えして、ゲシュタルト療法を踏まえた「再決断療法」についてワークを交えた講座を開催いたします。そして綱島准教授による「発展的 TA のためのドンキーブリッジ」をベースとした、これからの TA の発展についての講座、川合教授による「関係性の交流分析(仮名)」、前年に引き続き、井手之上准教授による「TA マインドフルネス」、下川准教授による「迷宮シリーズ」講座を開催し、少しでも多くの会員の皆様に TA を深掘し日常生活に活かせるきっかけを提供いたします。
- ③ 特別セミナーでは鈴木佳子先生をお迎えし、これまで初級から深耕まで積み重ねてきた人格適応論について、再び「初級」に戻りご講義を頂き裾野を広げていきます。
- ④ 認定試験の支援を行いません。

3. 指導会員部会

『指導会員としてのスキル向上・理論研究の推進を目指します』

- ① インストラクター定例会を年 2 回開催します。インストラクターに必須の知識と能力を再確認し、実践的な学びをとおしてカレッジ開設や講座運営能力も身につく定例会を開催していきます。
- ② 一人でも多くの会員が定例会に参加できるよう、ハイブリッド形式による受講環境の整備も視野に入れていきます。
- ③ 本部主催で年 2 回開講されるインストラクター資格更新研修会を運営します。資格更新とともに受講者の理論理解を深められるよう充実した講座進行をしていきます。

4. 広報部会

ホームページの作成・更新、メールマガジンの発行を継続し、Web 講座や SNS などインターネット・コミュニケーションを活用した会員サービスの充実、イベント管理システムの活用によるペーパーレス化、省力化の推進に寄与する、など支部運営の合理化の一端を担っていきます。また、本部ホームページとの連携を強化します。

- ① より使いやすい、HP となるよう、早い更新を心掛け常に改善につとめます。
- ② 各部会との連携をより強化しその活動を支援。会員の皆様への広報を通じて各部会の活動サポートを続けます。
- ③ TA カレッジの開設・受講生募集をより使いやすくしカレッジ運営を支え新規会員の増加の寄与を続けます。
- ④ 長引くコロナ禍のなかりリモートの流れはますます進むと考え、Web 講座・申し込み・受講が順調に進むよう、システムの改善に努めます。
- ⑤ 会報内容の充実と定期発行の取り組みを続けます。
- ⑥ 関東支部所有の価値ある文書を活用していただけるよう、引き続き電子書籍の研究に取り組みます。
- ⑦ 「まんがでわかる交流分析」の続編の作成を進めます。
- ⑧ 会員からの投稿・応募など、会員参加型・双方向型の広報を目指していきます。
- ⑨ パンデミックや災害などへの対策として、またスムーズな引き継ぎのため、引き続き委員の複数分担制を進めていきます。
- ⑩ TA のニーズをマーケティングしてまいります。それを使って SNS、HP へと展開していきます。

【2021 年度の活動報告】

5. TA カレッジ部会

《活動内容》

- ・TA カレッジ運用ルールの周知
- ・TA カレッジの運営管理・サポート
- ・TA カレッジ開設希望者への説明会実施、相談、勉強会開催
- ・TA カレッジ受講希望者への各種案内・サポート

《勉強会》 (各回1時間30分)

コロナ禍で対面での講座開講が困難になったため、Zoomにて【TA カレッジの講師を目指す方のための勉強会】を無料にて9回実施した。Zoom 操作編は一人ひとり操作を経験して貰うため、定員を6名とした。

第1回	2020年10/25	【Zoom 操作編】	参加者 10名	第2回	2020年12/13	【Zoom 操作編】	参加者 5名
第3回	2021年2/21	【Zoom 操作編】	参加者 8名	第4回	2021年3/14	【運営編】	参加者 15名
第5回	2021年6/27	【Zoom 操作編】	参加者 6名	第6回	2021年7/30	【Zoom 操作編】	参加者 2名
第7回	2021年10/24	【運営編】	参加者 6名	第8回	2021年12/26	【Zoom 操作編】	参加者 6名
第9回	2022年3/26	【運営編】	参加者 2名				(中部支部から見学あり)

《勉強会内容》

【Zoom 操作編】

- ・Zoom で2級講座を開催するための注意事項
- ・Zoom でカレッジを行うための環境
- ・招待方法
- ・資料共有
- ・ブレイクアウトルーム設定 他

【運営編】

- ・集客
- ・講座回数に合わせた2級テキストの割振り (モデルケース紹介)
- ・TA カレッジの開設や運営における質問
- ・Zoom での講座の進め方 他

「関東支部作成の Zoom でホストをする際のマニュアル」を作成し、HPに掲載した。

6. 組織運営部会

2020 年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大による厳しい環境下ではあったが、下記の項目について取り組みました。

1) 資格講座充実の取組みについて

全般的に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により3密回避の対策実施のため、基本となる対面式講座の開催が出来なくなりました。支部主催2級資格講座においては、半期ごとに2回開催の計画を立てましたが、結果的には1回ずつの開催となりました。受験する一部の会員においては越県での都市間移動を望まない方もおられ、関東支部で試みた2日間とも Zoom 方式による認定試験とグループ面接は、新たな認定試験のあり方を実証することができました。

支部主催1・2級資格講座：2回/年開催 1・2級認定試験、インストラクター受講資格試験：年2回開催

2) 実践活動周知対策の強化について

会員活動報告集第十一集については、支部主催の理論講座参加報告書や感想文を掲載して発行し、会員活動の紹介に加え、感想文作成者の紹介を兼ね開催講座の報告を行うことが出来ました。

投稿原稿数：5件 理論講座感想文等：15件

3) 社会貢献活動の取組みについて

コロナ禍の影響で活動が制限されましたが、出前講座：4件および受託講座：5件を行いました。

4) 支部活動の強化と財政赤字の改善への取組み

① コロナ禍により支部主催理論講座をはじめ、運営委員会、副支部長会議、会員集会も Zoom を活用して開催し、交通手段による移動を伴わない新たな開催方式が構築できました。結果として運営委員のリモート操作のスキル向上にも寄与し、運営委員会の出席率が向上したことで、情報共有が密に行えました。

運営委員会 11回開催 副支部長会議 3回開催

【2022 年度の活動計画】

5. TA カレッジ部会

より多くの TA カレッジが開設されるよう、様々なサポートを進めて参ります。

- ・TA カレッジ運用ルールの周知
- ・TA カレッジの運営管理・サポート
- ・TA カレッジ開設希望者への説明会実施、相談、勉強会開催
- ・TA カレッジ受講希望者への各種案内・サポート

6. 組織運営部会

『会員のメリットを追求し、効率的で効果的な運営を目指します』

1) 資格講座充実の取組みについて

喫緊の課題である2級・1級資格講座の受講者増に向けての対策については、引き続き TA への関心度アップにつながるよう入門講座・県別紹介講座の取り組み強化を通じ2級講座の受講者増につなげ、さらに、1級講座の受講者増については、TA のみにとどまらず周辺理論全般に視野を広げた学習意欲の喚起につながるよう努めます。また、Zoom を活用した新たな講座開講を目指し、その企画・立案作業に着手します。

2) 実践活動周知対策の強化について

会員活動報告集への投稿者の拡大と内容充実に取り組むため、年間通じて投稿に向けた活動を支援してまいります。自主勉強会の支援にも継続して取り組みます。

3) 社会貢献活動の取組みについて

出前講座 (公的機関、教育・福祉団体等を対象、無料) および受託講座 (一般企業等を対象、有料) を推進し、職場、学校、地域等への普及に取り組みます。

4) 「北海道エリア」の取組みについて

理論研究と交流の機会拡大を目指した活動支援を行います。北海道エリア会員の運営委員へ参画できるよう、支部規程の見直しを検討します。

5) 支部活動の強化と財政赤字の改善について

- ① 2021 年度に継続して事業活動の内容を検証し、費用対効果を勘案しながら実施します。四半期ごとに会計収支状況を確認し、支部運営に反映いたします。
- ② 交流分析の普及に向けた支出については計画的に実施します。

【2021 年度の活動報告】	【2022 年度の活動計画】
<p>② 講座の Zoom 開催により、会場使用料が不要となったこと、運営委員への活動費返上措置により、2021 年度は黒字化貢献することが出来ました。</p> <p>5) TA心理カウンセラー関東支部勉強会の位置づけの明確化について 2021 年度より、関東支部 組織運営部会内に位置づけをし、勉強会運営の充実化と適正化を行いました。TA心理カウンセラー資格会員の増加に伴い、従来よりTA心理カウンセリング委員会が中心に行ってきた運営を、関東支部の主催に移管したものです。昨年度より会員に対して運営などについて意見聴取を重ねながら、次年度に向けて有志の事務局を中心に勉強会の計画立案を行いました。 TA心理カウンセラー勉強会：2回/年開催</p> <p>6) 第45回全国年次大会（東京）の準備作業について 2021 年度下期以降、大会プロジェクトチームを発足し、年次大会に向けその活動を強化し本格的な準備作業を開始しました。基調講演、特別講演の各先生を決定することができました。また、会場も安価な公共の会議室が確保でき、年次大会予算の支出削減に大きく寄与することができました。</p>	<p>③ 運営委員会、副支部長会議の Web 会議方式 (Zoom) での開催を推進し、活動費の支給再開とともに、会場費や交通費の経費節減に努めます。</p> <p>④ 発行する冊子や報告集などの電子化閲覧を推進し、印刷費を削減し財務改善に寄与します。</p> <p>⑤ 新たな顧客を開拓し、受託講座を増やして収入拡大を推進します。</p> <p>6) TA心理カウンセラー関東支部勉強会の取り組み TA心理カウンセラー関東支部勉強会の活動に関して、予約管理システム「イーベ」の活用による利便性の向上にくわえ、関東支部ホームページによる告知を検討しています。有資格者に対して情報を周知し、関東支部勉強会として公平かつ適正な運営体制を行うとともに、他支部のTA心理カウンセラー勉強会との相互交流による連携を図ってまいります。</p> <p>7) 第45回全国年次大会（東京）について 協会初となる「ハイブリッド方式」での開催に対して、感染対策を十分に行った上で、その開催成功に向け運営委員、ボランティアスタッフが一丸となって活動してまいります。</p>

2021年度県別紹介講座・出前講座等の内容一覧

2021.4.1～2022.3.31

県別紹介講座	開催日	会場	テーマ	参加人数	時間
	2021/8/21	塩尻市市民交流センター えんぱーく	自分らしさ発見	6	2H
	2021/8/21	塩尻市市民交流センター えんぱーく	自分観察ワークショップ エゴグラムで自分を知ろう	7	2H
	合 計 (1 件)				13

出前講座	開催日	会場	テーマ	参加人数	時間
	2021/6/3	Zoom(山武郡市学校事務研究部会)	コミュニケーション能力向上のために	57	3H
	2021/6/21	横浜市踊りが地域ケアプラザ	自分を分析してケアマネジメントに活かす交流分析につ	25	1.5H
	2021/7/15	Zoom(港区立男女平等参画センター)	相談者とのコミュニケーションを高める為の交流分析の活用	10	2H
	2021/10/22	Zoom(川崎市介護支援専門員麻生区・多摩区連絡会)	コミュニケーション向上	30	2H
	合 計 (2 件)				122

受託講座	開催日	会場	テーマ	参加人数	時間
	2021/8/6	東海大学(初等中等教育部 初等中等教育課)	中級職2種研修会 I 「人間関係スキル・人間力強化」	43	3H
	2021/10/21	Zoom(港区立男女平等参画センター)	相談者とのコミュニケーションを高めるための交流分析の活用Part2	12	2H
	2021/11/18	Zoom(港区立男女平等参画センター)	相談者とのコミュニケーションを高めるための交流分析の活用Part3	11	2H
	2021/12/12	Zoom(認定NPO法人 キャリアデザイン研究所)	交流分析の基礎	30	3H
	2022/2/19	Zoom(日本産業カウンセラー協会北関東支部)	交流分析入門	14	6H
	2022/3/5	Zoom(日本産業カウンセラー協会北関東支部)	交流分析入門	14	6H
合 計 (6 件)				124	

2021年度 TAカレッジ開催内容一覧

2021.4.1～2022.3.31

NO.	TAカレッジ名称	講座	期 間	開催日数	受講者数
1	TAカレッジ松本北	2級	2021/4/10～2021/5/30	6日間	11
2	TAカレッジ足利	2級	2021/5/15～2021/7/4	6日間	2
3	TAカレッジ新橋	2級	2021/5/30～2021/9/14	6日間	4
4	TAカレッジ大倉山	2級	2021/6/5～2021/8/21	6日間	1
5	TAカレッジ栃木	2級	2021/6/11～2021/8/21	6日間	1
6	TAカレッジ藤沢	2級	2021/6/13～2021/8/8	6日間	2
7	TAカレッジ船橋	2級	2021/6/13～2021/8/22	6日間	2
8	TAカレッジ田町	2級	2021/7/11～2021/9/12	6日間	3
9	TAカレッジ大倉山	2級	2021/7/23～2021/11/20	6日間	1
10	TAカレッジ大倉山	2級	2021/9/5～2021/12/19	6日間	1
11	TAカレッジ松本北	2級	2021/9/30～2021/12/24	6日間	9
12	TAカレッジ藤沢	2級	2022/1/9～2022/2/27	8日間	1
13	TAカレッジ新橋	2級	2021/11/27～2022/3/5	6日間	4
14	TAカレッジ金沢八景	1級	2021/6/5～2021/8/8	6日間	3
15	TAカレッジ藤沢	1級	2021/6/12～2021/9/4	11日間	4
16	TAカレッジ田町	1級	2021/6/27～2021/8/29	6日間	10
17	TAカレッジ藤沢	1級	2021/10/23～2022/2/19	9日間	4
18	TAカレッジ田町	1級	2021/11/7～2022/1/16	6日間	4
19	TAカレッジ塩尻	1級	2021/12/9～2022/7/17	7日間	6
合 計					73

2021年度 理論講座・各種講座 実績一覧表

2021.4.1～2022.3.31

NO.	講 座	期 間	開催形態	受講者	備 考
1	2級講座 前期	8月	集中コース	8	
2	2級講座 後期	2月～3月	集中コース	11	
3	1級講座 前期	6月～8月	土曜コース	10	
4	1級講座 後期	12月～2月	集中コース	6	
5	インスト養成講座 前期	5月～6月	A クラス	6	
6	インスト養成講座 後期	1月～2月	A クラス	3	
7	1・2級認定試験（東京）	9月	土日曜日	41	1級 21名、2級 20名
8	インスト受講資格試験（東京）	9月	日曜日	4	
9	1・2級認定試験（長野）	10月	土日曜日	25	1級 15名、2級 10名
10	インスト受講資格試験（長野）	10月	日曜日	0	
11	1・2級認定試験（東京）	3月	土日曜日	33	1級 10名、2級 23名
12	インスト受講資格試験（東京）	3月	日曜日	19	
13	[理論講座]エゴグラムの読み方(基礎編)	6月	1回	4	
14	[理論講座]エゴグラムの読み方(アドバンス)	9月	1回	6	
15	[理論講座]ドライバーと脚本の活用	5月	1回	42	
16	[理論講座]TAマインドフルネス(6回継続)	9・10・11・ 12・1・2月	6回	74	延べ人数
17	[理論講座]人生の立場の迷宮	12月	1回	17	
18	[特別セミナー]人格適応論の深耕	11月	2回	24	延べ人数
19	インストラクター定例会	10月・2月	年2回	44	10月:23名、2月:21名
20	交流分析 入門講座	7・10・11・1月	年4回	19	
21	県別紹介講座	4月～3月		13	1県
22	出前講座	4月～3月		122	4件
23	受託講座	10月～12月		124	6件
	合 計			655	
参考	インストラクター資格更新研修会	8月・3月	(本部主催)	80	8月:31名 3月:49名

2022 年度 理論講座等計画一覧表

2022 年 5 月 15 日現在

開催日時	研 修・講 座	ポイント
5 月 2 2 日 (日) 13:00~16:00	理論講座：「交流分析、ゲシュタルト療法、そして再決断療法」 (Zoom) 講 師：室城 隆之先生 江戸川大学社会学部人間心理学科教授	1.0
7 月 2 3 日 (土) 10:00~16:00	理論講座：「発展的 TA(仮名)」(Zoom) 講 師：交流分析士准教授 綱島 康高	1.0
7 月 2 4 日 (日) 10:00~16:00	★インストラクター定例会 内 容：「企画中」 講 師：交流分析士准教授 押川 聖子	1.0
8 月 1 3 日 (土) 10:00~16:00	★インストラクター資格更新研修会【本部主催】 内 容：「調整中」 講 師：交流分析士教授 川合 由美子 (3年に1回必須)	2.0
9 月 1 0 日 (土) 10:00~16:00	理論講座：「迷宮シリーズ(内容は未定)」(Zoom) 講 師：交流分析士准教授 下川 完平	1.0
9 月 1 8 日 (日) 1 1 月 1 3 日 (日) 1 2 月 2 4 日 (土) 1 月 1 4 日 (土) 2 月 4 日 (土) 3 月 5 日 (日)	理論講座：「TA マインドフルネス」(Zoom) 講 師：交流分析士准教授 井手之上 修	各回 1.0
1 2 月 1 0 日 (土) 10:00~16:00	理論講座：「関係性の交流分析(仮名)調整中」(Zoom) 講 師：交流分析士教授 川合 由美子	1.0
1 月 2 2 日 (日) 10:00~16:00	★インストラクター定例会 内 容：「企画中」	1.0
2 月 2 6 日 (日) 10:00~16:00	★インストラクター資格更新研修会【本部主催】 内 容：「調整中」 講 師：交流分析士教授 西條 ユキコ (3年に1回必須) ※ 8/13 と同じ内容です。 8/13 に受講済みで再度受講する場合 のポイントは「1.0」となります。	2.0
特 別 セ ミ ナ ー		
1 1 月 5 日 (土) 1 1 月 6 日 (日) 10:00~16:00	講 座：「人格適応論(初級)」(Zoom) 講 師：鈴木 佳子先生(東京経済大学)	各 1.0

※ 受講証は発行いたしません。(出席簿と受講者各自の管理)

2021年度収支報告 および 2022年度収支予算 比較表

	(2021年度実績)	(2022年度予算)
収入総額	14,171千円	12,019千円
支出総額	12,093千円	11,910千円
収支差額	2,078千円	109千円

I. 収支明細表

(単位:千円・%)

	2020年度	2021年度				2022年度	備 考
	実績額	予算額	決算額	予算差異	予算対比	予算額	
【収入の部】							
1. 割戻収入	2,070	2,100	1,997	-103	95.1%	2,140	年会費戻 @2,000
2. 事業収入	9,414	10,487	12,168	1,681	116.0%	9,879	
①講座受講料	4,614	5,512	7,061	1,549	128.1%	5,579	資格講座
②研修受講料	1,876	1,675	1,537	-138	91.8%	1,429	各研修会 他
③認定受講料	2,723	3,300	3,426	126	103.8%	2,871	認定試験
④TA資料収入	201	0	144	144	0.0%	0	書籍等 斡旋販売
⑤諸活動収入	0	0	0	0	0.0%	0	
3. 寄附金受入	0	0	0	0	0.0%	0	
4. 会員集会収入	0	0	0	0	0.0%	0	
5. 雑収入	595	0	6	6	0.0%	0	
6. その他収入	0	0	0	0	-	0	
当期収入合計	12,079	12,587	14,171	1,584	112.6%	12,019	
【支出の部】							
1. 事業活動費	5,791	5,533	6,272	739	113.4%	5,601	
①講座運営費	2,780	3,191	3,931	740	123.2%	3,065	会場使用料
②研修運営費	1,138	477	429	-48	90.0%	751	講師料
③認定講座費	663	1,265	959	-306	75.8%	1,120	資料印刷費 他
④TA資料費	602	100	428	328	0.0%	365	本部仕入 支部作成費
⑤諸活動費	0	300	505	205	0.0%	0	ストライプジャパン、クレジット手数料
⑥会員集会費	69	200	0	-200	0.0%	0	会場使用料 資料費
⑦広報活動費	539	0	18	18	1838.0%	300	HP、メルマガ、案内 他
2. 事業管理費	5,441	6,720	5,821	-899	86.6%	6,049	
①人件費	2,290	2,700	2,211	-489	81.9%	2,503	事務職員給与 他
②会議費	24	100	39	-61	39.0%	20	運営委員会 他
③旅費交通費	474	700	483	-217	69.0%	306	
④通信運搬費	267	264	464	200	175.8%	264	
⑤消耗品費	62	100	263	163	0.0%	100	
⑥印刷費	48	100	48	-52	48.0%	100	チラシ 他
⑦水道光熱費	247	243	255	12	105.0%	243	
⑧賃借料	1,286	1,213	1,763	550	145.3%	1,213	事務所賃料 他
⑨備品費	11	300	49	-251	16.4%	300	
⑩雑費	732	1,000	246	-754	24.6%	1,000	リース料 振込手数料 他
3. 寄附金支出	0	0	0	0	0.0%	0	
4. その他支出	0	149	0	-149	0.0%	260	納税引当金
当期支出合計	11,232	12,402	12,093	-309	97.5%	11,910	
当期収支差額	847	185	2,078	1,893	-	109	
前期繰越額	7,847	8,434	8,434	0	100.0%	10,512	2021年度より
次期繰越額	8,434	8,311	10,512	2,201	90.8%	10,621	2023年度へ

※2021年度の決算額は税金計上前の数字を示す。

貸借対照表
(2022年03月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
現金	84	預り金	22
普通預金	8,884	源泉所得税	29
郵便振替預金	1,099	仮受金	29
仮払金	29	小計	51
保証金	467	正味財産の部	
		前期繰越正味財産	8,434
		当期正味財産増加額	2,078
		小計	10,512
合計	10,563	合計	10,563

上記の通り、報告します。

2022年4月23日

関東支部・支部長 金沢 治子 ㊟

監査報告

関東支部・支部長 金沢 治子様

2021年度における当支部の収支決算を監査したところ、適正に処理されており、公正にして妥当なものと認めます。

2022年4月23日

監事 村越 章裕 ㊟

監事 伊東 一郎 ㊟

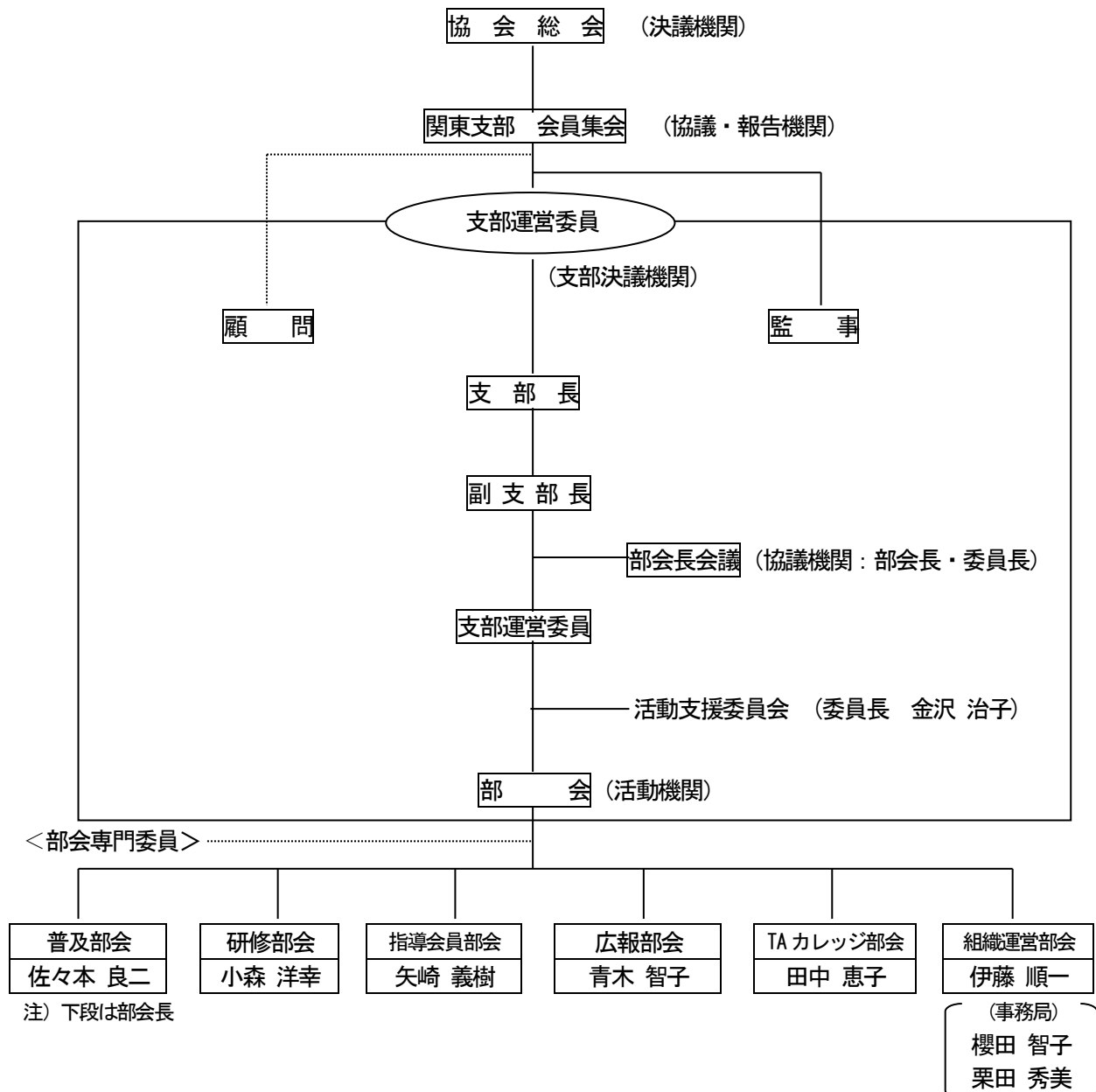
支部 運営委員 ・ 監事 ・ 顧問 名簿

【任 期 (2年間)】 2022年4月1日から2023年3月31日

【執行体制】 支部長 (富岡達也) 副支部長 (部会長兼務) 代表監事 (渡部達巳)

<運営委員>	相原悦子	青木智子	新井仁子	五十嵐信博	伊藤順一	上村健一郎
	宇野 浩	占部富美恵	金沢治子	河村庸子	小暮雅之	小森洋幸
	佐々本良二	田中恵子	田中真喜子	富岡達也	富田幸枝	坂東史重
	丸山昌志	矢崎義樹	宮崎美紀	山田聡美		22名
<監 事>	渡部達巳	熊本頼夫				2名
<顧 問>	池上岩男 (准教授)	小川正治 (教授)	小林雅美 (教授)	下平久美子 (教授)		4名
(本部役員)	理事：伊藤順一	富岡達也	監事：井手之上 修			

2022年度 関東支部 機構図



関東支部 県別 資格別 会員数

1. 資格別会員数

	教授	准教授	インストラクター	1級	2級	会員	合計
東京都	2	5	68	112	70	26	283
	2	5	72	105	69	31	289
神奈川県	1	5	66	91	68	15	246
	1	5	68	91	63	20	256
千葉県	1	1	27	22	20	5	76
	1	1	31	22	23	10	87
埼玉県		1	20	22	13	7	63
		1	20	20	13	12	66
茨城県			10	16	13	1	40
			11	16	14	1	50
群馬県		1	7	8	11	1	28
		1	12	10	12	0	41
栃木県			10	24	12	2	48
			8	21	15	3	49
山梨県		2	4	13	5	2	26
		2	3	12	4	2	26
長野県		1	36	65	44	14	160
		1	37	56	51	28	173
計	4	16	248	373	256	73	970
	4	16	262	353	264	107	1,006
北海道			10	22	7	5	44
			12	21	9	8	54
合計	4	16	258	395	263	78	1,014
	4	16	274	374	273	115	1,056

注) 上段:2021年3月 現在

下段:2020年3月 現在

2. TAカレッジ・TA子育て支援士・TA心理カウンセラー

	TAカレッジ	TA子育て支援士	TA心理カウンセラー		TAカレッジ	TA子育て支援士	TA心理カウンセラー
東京都	6	6	11	栃木県	2	2	3
	5	7	13		2	1	2
神奈川県	7	7	12	山梨県	0	0	0
	7	7	11		0	0	1
千葉県	3	6	5	長野県	7	19	16
	0	7	5		5	20	15
埼玉県	3	1	1	計	32	43	52
	3	1	1		26	45	52
茨城県	4	1	2	北海道	4	2	1
	4	1	2		4	3	1
群馬県	0	1	2	合計	36	45	53
	0	1	2		30	48	53

注) 上段:2022年3月 現在

下段:2021年3月 現在